

大阪医科薬科大学 薬学部規程細則（平成27～29年度入学生適用）

（令和3年4月1日施行）

（目 的）

- 第1条** 大阪医科薬科大学薬学部薬学科における授業科目の履修に関しては、大阪医科薬科大学薬学部規程（以下、「薬学部規程」という。）に定めるもののほか、この細則による。
- 2 この細則は、令和3年4月1日に大阪薬科大学から薬学部に入転した学生のうち、平成27年度から平成29年度大阪薬科大学入学生に適用する。

（授業科目、履修及び授業日程の公示）

- 第2条** 授業科目、単位数及び配当年次は別表1のとおりとする。
- 2 授業科目は原則として、配当されている学年次において履修しなければならない。
- 3 各学年次において履修する授業科目の内容、授業時間表及び担当教員はシラバスにより公示する。
- 4 各学年次において学生が1年間に履修できる授業科目の単位数の合計は、原則として55単位を上限とする。なお、各学年次での履修単位数を算定する際、複数の学年次にわたり配当されている授業科目は、その授業科目の単位数を各学年次に按分し算定する。
- 5 学業成績が優秀な学生は、前項に定める単位数の上限を適用しないことを認める場合がある。
- 6 第1項の授業科目は、多様なメディアを利用して、当該授業を行う本学の校舎及び附属施設等以外の場所で学生に履修させることができる。また、学生に海外において履修させる場合においても同様とする。

（成 績）

- 第3条** 授業科目の成績の評価は、授業科目毎に担当教員が授業内容に対する学生の学習到達度によって行い、到達目標及び成績評価方法はシラバスに示す。
- 2 前項の評価は、学則第21条第2項の規定にかかわらず、原則として100点法によって行い、60点以上を合格、59点以下を不合格とし、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）とする。
- 3 前項の規定にかかわらず、一部の授業科目は、論文、報告書等の審査により合・否を判定する。

（単位の認定）

- 第4条** 薬学部規程第8条に定めるほか、第11条の規定により必修科目、選択必修科目の単位が未修得で進級した場合、次年度以降に実施される再試験又は4年次及び6年次の再試験終了後に実施される特別再試験を受験し、単位修得の認定を受けるものとする。ただし、選択科目は次年度に再試験を実施しない。

（G P A）

第5条 原則としてG P Aは適用しない。ただし、指定する奨学金の選考にあたっては、薬学部規程第9条の定めに基づき年度G P Aを算定し、これを用いるものとする。

(試験の種類)

第6条 試験は定期試験、再試験及び特別再試験に分ける。

(定期試験)

第7条 定期試験を学期末に各1回行い、それぞれ前期定期試験及び後期定期試験とする。

- 2 出席回数が授業回数の3分の2に満たない者は、定期試験を受験することができないことがある。
- 3 定期試験における成績の評点は、試験の評点により、又は試験の評点に平常の成績などを含め、100点を満点とした整数によって表示する。

(再試験)

第8条 再試験は原則として各学期末に行う定期試験終了後に行う。

- 2 定期試験を受験し、成績が合格と判定されなかった場合、再試験を受験しなければならない。
- 3 2年次から4年次において、下位年次配当科目を受験する場合（再履修の場合を除く。）は、別表1に規定する当該科目の配当年次に実施する定期試験を再試験として受験し、成績が合格と判定されなかった場合、再度、再試験を受験しなければならない。
- 4 定期試験を欠席した場合、再試験を受験しなければならない。なお、次の理由により欠席した場合、試験欠席届及び理由書を提出することができる。
 - (1) 忌引（一親等又は二親等死亡の場合）又は就職試験、大学院入学試験の場合
 - (2) 傷病（診断書を提出）
 - (3) その他やむを得ない理由
- 5 再試験における成績の評点は、試験の評点により、又は試験の評点に平常の成績などを含め、60点を限度として表示する。ただし、前項第1号の場合は定期試験と同様に100点、第2号の場合は80点、第3号の場合は原則として70点をそれぞれ限度とする。
- 6 選択科目の再試験は、履修した年度のみ受験することができる。

(特別再試験)

第9条 4年次の再試験終了後、第11条第5項に規定する進級に必要な履修授業科目のうち、単位未修得科目について4年次特別再試験を行う。

- 2 前項の単位未修得科目のうち、必修科目及び選択必修科目が5科目を超える場合は、4年次特別再試験を受験することができない。また、選択科目の受験は、3年次又は4年次に履修届を提出した科目に限る。
- 3 6年次の再試験終了後、別表2に規定する卒業に必要な履修授業科目のうち、単位未修得科目について6年次特別再試験を行う。
- 4 特別再試験における成績の評点は、試験の評点により、又は試験の評点に平常の成績などを含め、60点を限度として表示する。

- 5 定期試験を実施せずに、他の適切な方法で学修の成果を評価し単位を与える科目（実習、実技、演習等）については、特別再試験を実施しない。このほか、薬学総合演習は特別再試験を実施しない。

（受験料）

第10条 第8条第4項第1号から第3号のいずれかに該当する再試験の受験者は、薬学部規程第15条第1項の定めにかかわらず受験料を免除する。

（進 級）

第11条 進級査定は、年度末に行う。

- 2 1年次から2年次への進級は、1年次に課せられた必修科目及び選択必修科目のうち、単位未修得科目が5科目以下のときに認められる。
- 3 2年次から3年次への進級は、次の各号すべてを満たしたときに認められる。
- (1) 2年次までに課せられた必修科目及び選択必修科目の単位未修得科目が5科目以下であること
 - (2) 基礎教育科目の選択科目を5単位以上修得していること（ただし、教養科目は3単位以上修得していること）
- 4 3年次から4年次への進級は、次を満たしたときに認められる。
- (1) 3年次までに課せられた必修科目及び選択必修科目の単位未修得科目が5科目以下であること
- 5 4年次から5年次への進級は、次の各号すべてを満たしたときに認められる。
- (1) 4年次までに課せられた必修科目及び選択必修科目をすべて修得していること
 - (2) 3年次から4年次に課せられた基礎教育科目以外の選択科目を4単位以上修得していること
- 6 5年次から6年次への進級は、1年以上の在学を満たしたときに認められる。

（卒 業）

第12条 本学に6年以上在学し、別表2に定める履修すべき授業科目のすべての単位を修得したとき卒業が認められる。

- 2 卒業の認定は、毎年度末に行う。ただし、やむを得ない理由により、この認定を受けることができなかった者については、次年度においてこれを行うことができる。

（留 年）

第13条 原級に留め置かれた場合、原則として当該年次までの単位未修得のすべての授業科目を再履修するものとする。

- 2 原級に留め置かれた場合、当該年度に限り薬学部規程第3条第2項の規定にかかわらず、一つ上位の学年次に配当されている授業科目の履修（先取り履修）を認めることがある。
- 3 前項に定める先取り履修についての取扱いは、別に定める。

（改 廃）

第 14 条 この細則の改廃は、薬学部教授会の議を経て、学長が決定する。

附 則

- 1 この細則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 3 年 4 月 1 日に大阪薬科大学から薬学部へ転入学した学生の大阪薬科大学において修得した単位等については、薬学部へ継承する。

(別表1) 授業科目及び単位年次配当表

<薬学部薬学科：平成27～29年度入学生適用>

区分	授業科目	必 選	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎 教育 科目	文学の世界(教養)	○	1		1									
	歴史と社会(教養)	○	1		1									
	地球環境論(教養)	○	1		1									
	政治と社会(教養)	○	1		1									
	基礎心理学(教養)	○	1		1									
	法と社会(教養)	○	1		1									
	経済の世界(教養)	○	1		1									
	社会分析の基礎(教養)	○	1		1									
	人間と宗教(教養)	○		1		1								
	文化人類学(教養)	○		1		1								
	倫理と社会(教養)	○		1		1								
	コーチング論(教養)	○		1		1								
	スポーツ・運動実習2(教 養)	○		1		1								
	数理論理学(教養)	○		1		1								
	数学1	●	1											
	数学2	●		1										
	数理統計学	●			1.5									
	物理学1	●	1											
	物理学2	●		1										
	英語リスニング1	●	1											
	英語リスニング2	●		1										
	英語リーディング1	●	1											
	英語リーディング2	●		1										
	英語スピーキング1	●			1									
	英語スピーキング2	●				1								
	英語ライティング1	●			1									
	英語ライティング2	●				1								
	ドイツ語1 ※1	▲	1											
	ドイツ語2 ※1	▲		1										
	フランス語1 ※1	▲	1											
	フランス語2 ※1	▲		1										
	中国語1 ※1	▲	1											
	中国語2 ※1	▲		1										
	ハングル1 ※1	▲	1											
	ハングル2 ※1	▲		1										
	異文化言語演習1	●					1							
	異文化言語演習2	●						1						
	心理社会	●			1.5									
	コミュニケーション	●					1.5							
	医療と法	●						1						
	身体運動科学	●	1											
	スポーツ・運動実習1	●	1											
	情報科学	○		1										
	情報科学演習	●	1											
	化学	●	1											
	化学演習	●	1											

区分	授業科目	必選	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		6 年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学 基 科 礎 目 薬	生物学	●	1											
	医工薬連環科学	○			1.5									
	基礎有機化学	●	1											
基 礎 薬 学 科 目	薬学入門	●	1											
	基礎細胞生物学	●		1.5										
	有機化学 1	●		1.5										
	有機化学 2	●			1.5									
	有機化学 3	●				1.5								
	有機化学 4	●					1.5							
	有機スペクトル解析学	●				1.5								
	物理化学 1	●		1.5										
	物理化学 2	●			1.5									
	物理化学 3	●				1.5								
	分析化学 1	●		1.5										
	分析化学 2	●			1.5									
	放射化学	●					1.5							
	生化学 1	●		1.5										
	生化学 2	●			1.5									
	生化学 3	●				1.5								
	微生物学	●			1.5									
	機能形態学 1	●		1.5										
	機能形態学 2	●			1.5									
	生物無機化学	●			1.5									
	免疫学	●						1.5						
応 用 薬 学 科 目	薬学英语	●							1					
	医療統計学	●						1						
	生薬学	●		1.5										
	基礎漢方薬学	●			1.5									
	薬用天然物化学 1	●				1.5								
	薬用天然物化学 2	●					1.5							
	衛生薬学 1	●				1.5								
	衛生薬学 2	●					1.5							
	衛生薬学 3	●					1.5							
	衛生薬学 4	●						1.5						
	病原微生物学	●			1.5									
	分子細胞生物学	●					1.5							
	ゲノム医科学	●					1.5							
	応用分析学	●					1.5							
	応用放射化学	○						1						
	生物物理化学	○							1.5					
	物理薬剤学	●					1.5							
	合成化学	●						1.5						
	薬品合成化学	○							1.5					
	医薬品化学 1	●							1.5					
	医薬品化学 2	●								1				
	薬局方総論	●											1	
	薬事関連法・制度	●							1.5					
	先端分子医科学 1	○											0.5	
	先端分子医科学 2	○											0.5	
	先端分子医科学 3	○											0.5	

区分	授業科目	必 選	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		6 年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医 療 薬 学 科 目	早期体験学習 1	●	← 1	→										
	早期体験学習 2	●		0.5										
	人体の構造と病態 1	●	1.5											
	人体の構造と病態 2	●		1.5										
	病態生化学	●						1.5						
	薬理学 1	●				1.5								
	薬理学 2	●					1.5							
	薬理学 3	●						1.5						
	薬理学 4	●							1.5					
	製剤学	●						1.5						
	生物薬剤学 1	●				1.5								
	生物薬剤学 2	●					1.5							
	薬物動態解析学	●						1.5						
	臨床薬物動態学	●							1					
	薬物治療学 1	●			1.5									
	薬物治療学 2	●				1.5								
	薬物治療学 3	●					1.5							
	薬物治療学 4	●						1.5						
	アドバンスト薬物治療学 1	○								1				
	アドバンスト薬物治療学 2	○											0.5	
	アドバンスト薬物治療学 3	○											0.5	
	医療薬剤学	●							1.5					
	個別化医療	●								1				
	コミュニティファーマシー	●								1.5				
	医薬品安全性学	●								1				
	医薬品情報学	●						0.5						
	医薬品情報演習	●							0.5					
	医薬品情報評価学	●											1	
	臨床栄養学	○								1				
	臨床感染症学	○								1				
	病態・薬物治療学演習	○								1				
	生命医療倫理	●							1.5					
	制度経済	●									1.5			
	医療政策論	○											0.5	
	医療倫理論	○											0.5	
	医療情報学	○											0.5	
	漢方医学概論	○											0.5	
	レギュラトリーサイエンス	○											0.5	
	創薬薬理学	○											0.5	
	薬学基礎演習	●								0.5				
	臨床化学	○								1				
	臨床生理学	○								1				
	薬学総合演習	●											← 3	→

区分	授業科目	必 選	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		6 年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
実 習 科 目	基礎薬学実習	●	0.5											
	基礎有機化学実習	●		1										
	有機化学実習	●					1							
	漢方・生薬学実習	●				0.5								
	分析化学実習	●			1									
	物理・放射化学実習	●				1								
	生物学実習	●			1									
	生物科学実習	●					1							
	衛生薬学実習	●						1						
	薬理学実習	●						1						
	薬剤学実習	●						1						
	臨床導入学習 1	●							4					
	臨床導入学習 2	●								1				
	病院実務実習	●									← 10 →			
	薬局実務実習	●									← 10 →			
	特別演習・実習 ※2	●							←		18		→	

●：必修科目 ▲：選択必修科目 ○：選択科目

選択科目は、同時間に複数科目開講することがある

※1 ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルより 1 カ国語を選択必修

※2 特別演習・実習は 4 年次前期から 6 年次前期の期間で行う

(別表2) 卒業に必要な単位数

<薬学部薬学科：平成27～29年度入学生適用>

種 別	区 分 等	単位数	単位数計
必 修 科 目	基礎教育科目 基礎薬学科目 応用薬学科目 医療薬学科目 実 習	26.5 単位 31 単位 28 単位 38.5 単位 53 単位	177 単位
選択必修科目	基礎教育科目 「ドイツ語 1,2」、「フランス語 1,2」、「中国語 1,2」、「ハンガール 1,2」 から1カ国語2科目	2 単位	2 単位
選 択 科 目	① 基礎教育科目 「教養科目 (1 単位)」 「情報科学 (1 単位)」、「医工薬連環科学 (1.5 単位)」 「3 大学連携、5 大学連携、コンソーシアム大阪の各プログラム」の中から *但し、「教養科目」からは3 単位以上修得すること	5 単位以上	5 単位以上
	②基礎教育科目以外 応用薬学科目 「応用放射化学 (1 単位)」、「生物物理化学 (1.5 単位)」 「薬品合成化学 (1.5 単位)」 医療薬学科目 「アドバンスト薬物治療学 1 (1 単位)」、「臨床栄養学 (1 単位)」 「臨床感染症学 (1 単位)」、「病態・薬物治療学演習 (1 単位)」 「臨床化学 (1 単位)」、「臨床生理学 (1 単位)」 (計 10 単位)の中から	4 単位以上	4 単位以上
	③基礎教育科目以外 応用薬学科目 「先端分子医科学 1 (0.5 単位)」、「先端分子医科学 2 (0.5 単位)」 「先端分子医科学 3 (0.5 単位)」 医療薬学科目 「アドバンスト薬物治療学 2 (0.5 単位)」 「アドバンスト薬物治療学 3 (0.5 単位)」、「医療政策論 (0.5 単位)」 「医療倫理論 (0.5 単位)」、「医療情報学 (0.5 単位)」 「漢方医学概論 (0.5 単位)」、「レギュラトリーサイエンス (0.5 単位)」 「創薬薬理学 (0.5 単位)」 (計 5.5 単位)の中から	2 単位以上	2 単位以上
合 計		190 単位以上	

- ・選択科目は、各項目ごとに示された単位数以上の単位を修得すること。
- ・選択科目の①の項目は、2 年次から 3 年次への進級要件の一つである。
- ・選択科目の②の項目は、4 年次から 5 年次への進級要件の一つである。
- ・3 大学連携、5 大学連携、コンソーシアム大阪の単位互換の取扱いについては別に定める。